SEKISUI

お手入れとお取扱いについて

BATH CORE

セキスイバスコア®

集合住宅用

取扱説明書

必ずご一読ください

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

BATH CORE

セキスイバスコア®

集合住宅用

セキスイバスコアをご採用いただきまして ありがとうございます。

このたびは、「セキスイバスコア」をご購入いただきありがとうございます。
このしおりは、「セキスイバスコア」をいつまでも安全に、美しく、
そして快適にご使用いただくための
正しいお手入れの仕方とお取扱い方法をご説明したものです。
間違った使用方法やお手入れの仕方は、
安全性を損ない、製品寿命を縮めることになりかねません。
心と体のリフレッシュ空間「セキスイバスコア」をいつまでも快適にお取扱いいただくため、
ご使用前にこの《取扱説明書》を必ずご一読ください。
なお、今後とも弊社製品をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

【お　願　い】

この取扱説明書は、当社がセキスイバスコア用として標準的に採用している部材・設備を対象に記載しています。地域・販売ルートの違いによって水栓金具・換気扇など一部仕様の異なる部材・設備が採用されている場合があります。
その場合には、各設備に添付されている取扱説明書を必ずお読みください。

◎この取扱説明書は、安全にご使用いただくための注意事項と各部位の機能やお手入れの仕方について記載されています。目的に応じてご活用ください。
◎禁止行為（警告・注意）や誤ったご使用方法は、事故あるいは、浴室を傷めたり、家財に悪影響を与える恐れがありますのでご注意ください。
◎浴室内の各部についているロットNo.やその他表示のラベルは、はがさないでください。後々のメンテナンスに必要なものです。

■お読みになられた後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

■転居される場合、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この《取扱説明書》を新しく入居される方、またはお取次ぎされる方に必ずお渡しください。

目 次

■安全にご使用いただくために
安全上のご注意 3
⚠警告・⚠注意 4
■セキスイバスコアの機種一覧 8
■各部の名称と主な材質 9
■使用方法と使用上のご注意
1.水栓器具 13
2.浴槽・風呂フタ 13
3.点検口 14
4.便器・ロータンク 14
5.ドア 15
6.タオル掛・物干しバー・ニギリバー 16
7.換気扇 16
■お手入れ
⚠警告・⚠注意 17
1.水栓器具 19
2.浴室 19
3.排水トラップ 21
4.ドア 22
5.タオル掛・ニギリバー 22
6.鏡 22
7.便器 22
8.照明器具 23
9.床（防水パン）BPシリーズ 23
■付加機能部品
1.換気・乾燥・暖房機 24
■異常かなと思った時は 25
■アフターサービス 26

'03.11

安全にご使用いただくために

■この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意《必ずお守りください》

ここに示した注意事項は、守っていただかないと人身事故や家財の損傷に結びつくものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区別し、説明しています。

警告　この表示の欄は「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。

注意　この表示の欄は「損傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。

この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

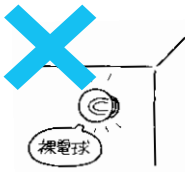
警告

●事故をおこさないために

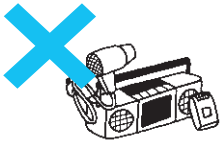
安全にご使用いただくために、お客様に必ず守っていただきたいことが記載してあります。よくお読みのうえ、正しくお使いください。

■感電にご注意

照明器具のカバーを、外して使わないでください。感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。



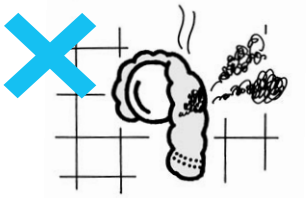
浴室内に電気製品を持ち込まないでください。感電のおそれがあります。



照明・換気扇のお手入れの場合は、必ず電源（スイッチ）を切ってから行なってください。
感電やケガをするおそれがあります。

■火事・漏電にご注意

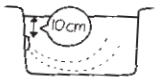
照明器具に、タオルなどを掛けないでください。過熱して、火災になるおそれがあります。



照明器具、換気扇、換気乾燥暖房機などに直接水をかけないでください。漏電のおそれがあります。

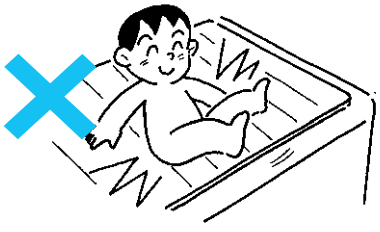
排水栓を、きちんと排水口に押し込んでください。水がもれていると、空焚きとなり、火災のおそれがあります。

風呂釜仕様の場合は、上段の循環口の上端より10cm以上のところまで水を入れてください。浴槽の水位が上記以下の時は、空焚きの原因となります。



■ケガ・ヤケドにご注意

風呂フタの上に、体重をかけたり、乗ったりしないでください。フタが外れ、ケガやヤケドをするおそれがあります。



幼児や身体の不自由な方を一人で入浴させないでください。おぼれたりケガやヤケドをするおそれがあります。

浴室内で幼児だけを遊ばせないでください。おぼれたりケガやヤケドをするおそれがあります。

警告

●事故をおこさないために

安全にご使用いただくために、お客様に必ず守っていただきたいことが記載してあります。よくお読みのうえ、正しくお使いください。

■水栓などの付帯設備について

付帯設備には、それぞれの商品に添付されている、「取扱説明書」および本体の注意表示にそって、お使いください。
誤った使い方をすると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

■機能商品をお使いの場合のご注意

機能商品は、それぞれの商品に添付されている「取扱説明書」および、本体の注意表示にそってお使いください。
誤った使い方をすると、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

改造はしないでください。
修理技術者以外の人は、分解したり、修理をしないでください。
火災･感電･ケガの原因となるおそれがあります。

下記の機能商品には取扱説明書が添付されています。

■換気乾燥暖房機

注意

●事故をおこさないために

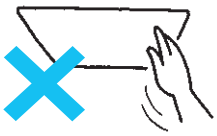
安全にご使用いただくために、お客様に必ず守っていただきたいことが記載してあります。よくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ケガ・ヤケド・水の事故にご注意

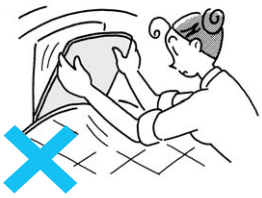
浴室内は、石ケン液などですべりやすくなっていますから､気を付けてください。ころんで、ケガをするおそれがあります。

風呂フタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。

通常はお客様が天井点検口を開ける必要はありませんが、もし点検口を開けて作業される場合は手袋をご使用ください。点検口蓋および開口部で手指に切り傷を負うおそれがあります。

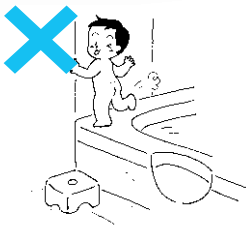


浴室の点検口フタは、設備点検時以外は、絶対に開けないでください。
フタが外れて、ケガをしたり、水漏れしたりするおそれがあります。

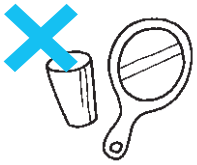


沸かしたての浴槽の湯は、上層部が高温になっている場合があります。よくかき混ぜてからご入浴ください。

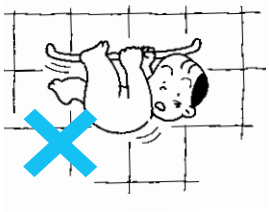
浴槽の縁などには、絶対に乗ったり座ったりしないでください。転落したり、水栓でヤケドをするおそれがあります。



浴室内に、ガラス製品など割れやすいものを持ち込まないでください。割れてケガをするおそれがあります。

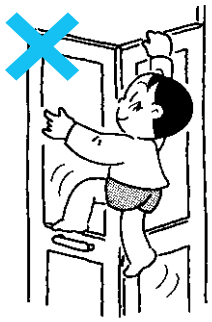


タオル掛・ランドリーパイプ・棚にお子様がぶら下がらないようにご注意ください。また、力まかせに引っ張らないでください。



浴槽に勢いよくはいると、流れた水の勢いで排水口フタやスノコがはずれて足を踏み外すおそれがあります。

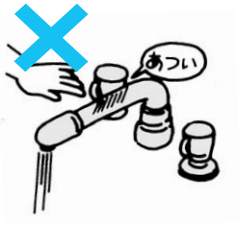
ドアにお子様がぶら下がらないようご注意ください。また、ドアの開閉は静かにおこない、きっちり閉めてください。手や足をはさまれるなど、ケガをする恐れがあります。また、入浴時は必ずドアを閉めてください。



水栓器具やシャワーは、水とお湯の量を調節し、温度をよく確かめてからお使いください。高温のお湯で、ヤケドをするおそれがあります。

高温のお湯をお使いのときには、吐水パイプに直接肌を触れないでください。ヤケドをするおそれがあります。

※一部機種を除く



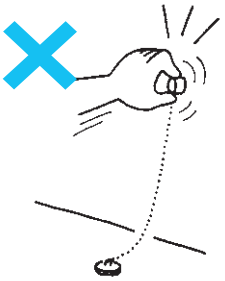
注意

●事故をおこさないために

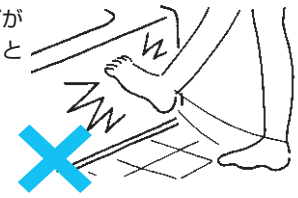
安全にご使用いただくために、お客様に必ず守っていただきたいことが記載してあります。よくお読みのうえ、正しくお使いください。

■水漏れにご注意

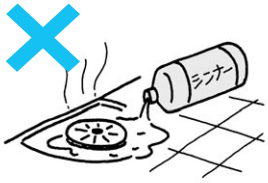
排水栓止め金具（ヒートン）を、無理に回したりしないでください。
取付け部がゆるむと、水漏れします。



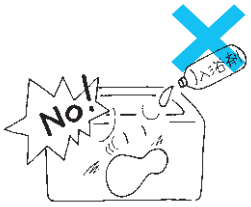
浴槽に、無理な力をかけないでください。ヒビが入って、水が漏れることがあります。



排水口に、シンナーなどの溶剤や薬品類を流さないでください。
水漏れのおそれがあります。

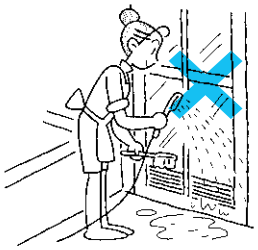


イオウ分や酢酸配合の入浴剤、塩素系清浄剤や温泉水を使用しないでください。
変色や劣化による水漏れのおそれがあります。



トラップの目皿の上にタオルなどでフタをして、洗い場に湯水を溜めないでください。湯水がドア部より溢れだし、脱衣室や床下を傷めるおそれがあります。

ドアに強く水をかけないでください。水漏れのおそれがあります。



塩素系洗浄剤、漂白剤は使用しないでください。金属の腐食、シール材の劣化のおそれがあります。

商品引き渡し後、器具の位置をかえたり、新しく取付ける場合は、必ず建物を施工した建築会社または当社（積水ホームテクノ（株））の営業所にご相談ください。
誤った取付けをすると、思わぬ事故や水漏れの原因となります。

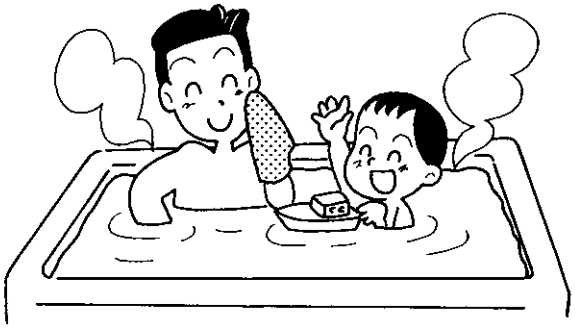
■凍結にご注意（寒冷地仕様）

凍結が予想される場合は、水抜きをしてください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らすおそれがあります。
水抜き方法は水栓器具の取扱説明書をご参照ください。

セキスイバスコアの機種一覧

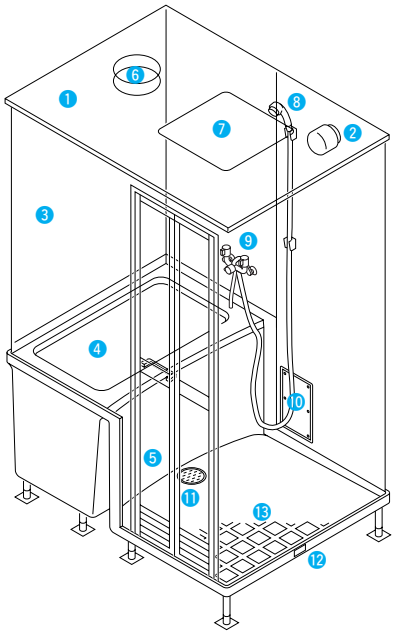
■セキスイバスコアはサイズとグレードにより、付帯設備・材質などの仕様が異なっています。お客様のお使いの浴室がどの機種に該当するか、下表でご確認ください。

機　種	タ イ プ	品　番	備　考
バスコア	バスセットタイプ（床・浴槽一体型）	BSA-(Q)0816	
		BSA-(Q)1014	
		BSA-(Q)1116	
		BSA-(Q)1216	
	防水パンタイプ（床・浴槽分離型）	BPA-(Q)1116	
		BPA-(Q)1216	
洗面器付バスコア	バスセットタイプ（床・浴槽一体型）	LSA-(Q)1014	
		LSA-(Q)1116	
		LSA-(Q)1216	
	防水パンタイプ（床・浴槽分離型）	LPA-(Q)1116	
		LPA-(Q)1216	
サニタリーコア（洗面、トイレ付）	バスセットタイプ（床・浴槽一体型）	SSA-(Q)1014	
		SSA-(Q)1116	
		SSA-(Q)1216	
	防水パンタイプ（床・浴槽分離型）	SPA-(Q)1116	
		SPA-(Q)1216	
トイレコア	防水パンタイプ	TCPⅢ-(Q)0811・0812	
シャワーコア	防水パンタイプ	RCPⅢ-(Q)0811	
		RCPLⅢ-(Q)0811	
		ARCP-0909	
		ARCP-0812	



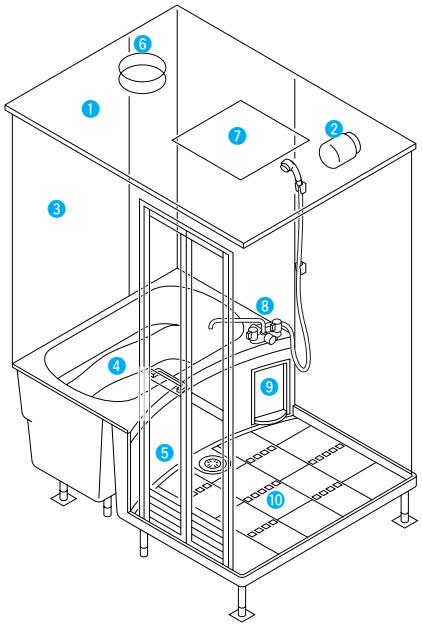
各部の名称と主な材質

※現品は図と仕様が異なる場合がありますのでご了承ください。



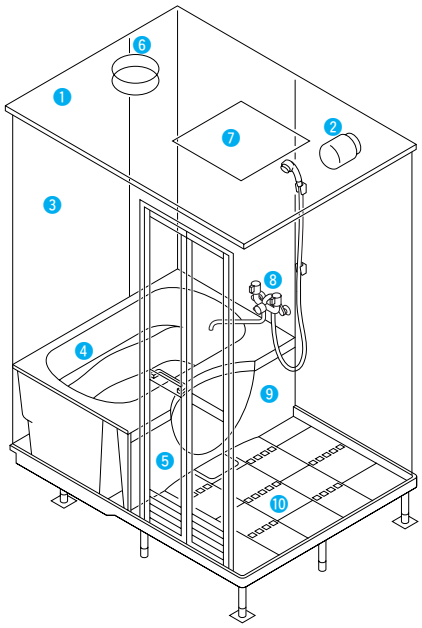
BSA-(Q)0816・1014

1. 天井パネル
2. 照明器具
3. 壁パネル
4. 浴槽
5. 折戸
6. 換気扇又は換気グリル
7. 天井点検口
8. シャワー
9. 混合水栓
10. 点検口フタ
11. 排水トラップ
12. 機種名表示
13. バスセット



BSA-(Q)1116・1216

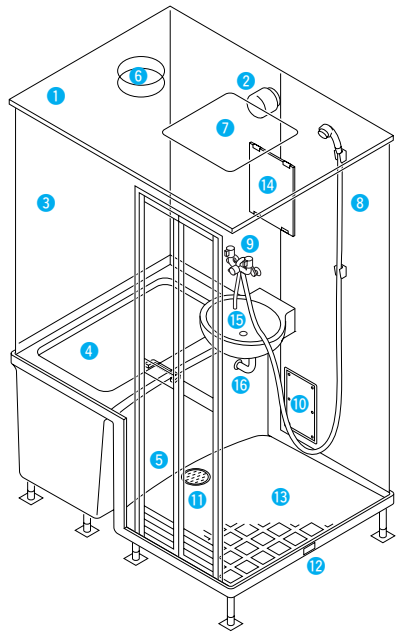
1. 天井パネル
2. 照明器具
3. 壁パネル
4. 浴槽
5. ドア
6. 換気グリル
7. 天井点検口
8. 混合水栓(シャワーホース・シャワーヘッド付き)
9. 床点検口
10. 床（パンバス）



BPA-(Q)1116・1216

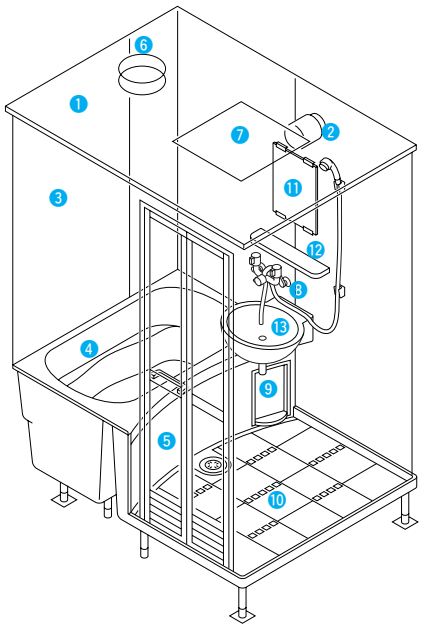
1. 天井パネル
2. 照明器具
3. 壁パネル
4. 浴槽
5. ドア
6. 換気グリル
7. 天井点検口
8. 混合水栓(シャワーホース・シャワーヘッド付き)
9. エプロン
10. 床（防水パン）

※現品は図と仕様が異なる場合がありますのでご了承ください。



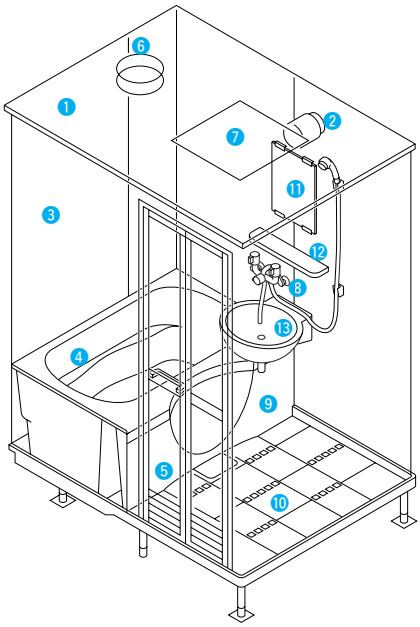
LSA-(Q)1014

1. 天井パネル
2. 照明器具
3. 壁パネル
4. 浴槽
5. 折戸
6. 換気扇又は換気グリル
7. 天井点検口
8. シャワー
9. 混合水栓
10. 点検口フタ
11. 排水トラップ
12. 機種名表示
13. バスセット
14. 鏡
15. 洗面器
16. 洗面排水管



LSA-(Q)1116・1216

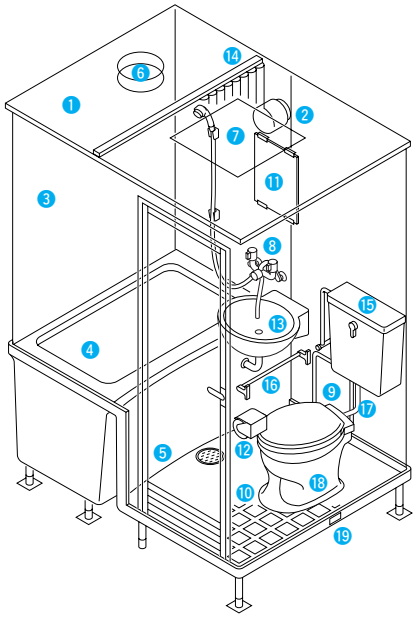
1. 天井パネル
2. 照明器具
3. 壁パネル
4. 浴槽
5. ドア
6. 換気グリル
7. 天井点検口
8. 混合水栓(シャワーホース・シャワーヘッド付き)
9. 床点検口
10. 床 (パンバス)
11. 鏡
12. 化粧棚
13. 洗面器



LPA-(Q)1116・1216

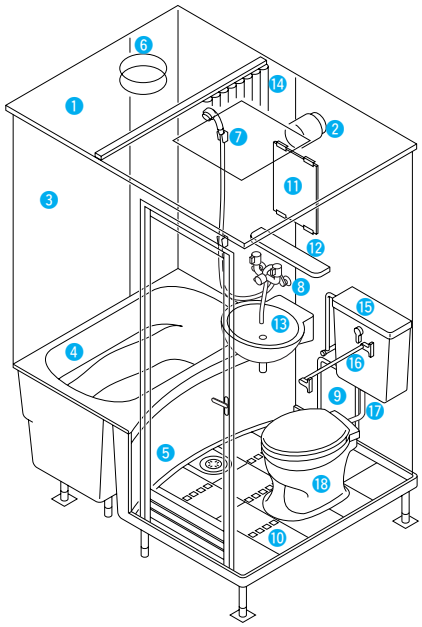
1. 天井パネル
2. 照明器具
3. 壁パネル
4. 浴槽
5. ドア
6. 換気グリル
7. 天井点検口
8. 混合水栓(シャワーホース・シャワーヘッド付き)
9. エプロン
10. 床 (防水パン)
11. 鏡
12. 化粧棚
13. 洗面器

※現品は図と仕様が異なる場合がありますのでご了承ください。



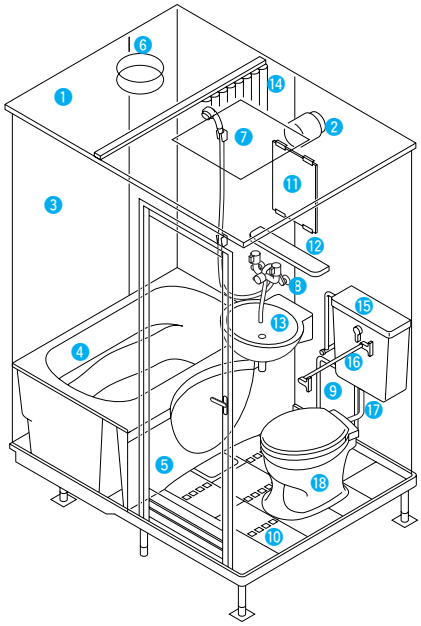
SSA-(Q)1014

1. 天井パネル
2. 照明器具
3. 壁パネル
4. 浴槽
5. ドア
6. 換気グリル
7. 天井点検口
8. 混合水栓（シャワーホース・シャワーヘッド付き）
9. 点検口フタ
10. 床（パンバス）
11. 鏡
12. 紙巻器
13. 洗面器
14. カーテン
15. ロータンク
16. タオル掛け
17. 洗浄管
18. 便器
19. 機種名表示



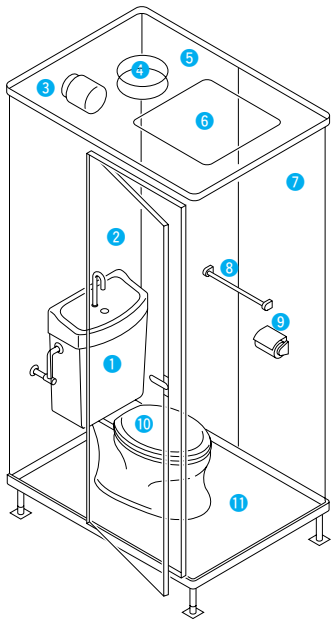
SSA-(Q)1116・1216

1. 天井パネル
2. 照明器具
3. 壁パネル
4. 浴槽
5. ドア
6. 換気グリル
7. 天井点検口
8. 混合水栓（シャワーホース・シャワーヘッド付き）
9. 床点検口
10. 床（パンバス）
11. 鏡
12. 化粧棚
13. 洗面器
14. カーテン
15. ロータンク
16. タオル掛け
17. 洗浄管
18. 便器



SPA-(Q)1116・1216

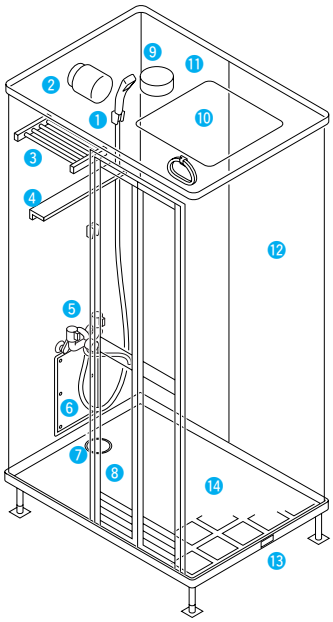
1. 天井パネル
2. 照明器具
3. 壁パネル
4. 浴槽
5. ドア
6. 換気グリル
7. 天井点検口
8. 混合水栓（シャワーホース・シャワーヘッド付き）
9. エプロン
10. 床（防水パン）
11. 鏡
12. 化粧棚
13. 洗面器
14. カーテン
15. ロータンク
16. タオル掛け
17. 洗浄管
18. 便器



TCPⅢ-(Q)0811・0812

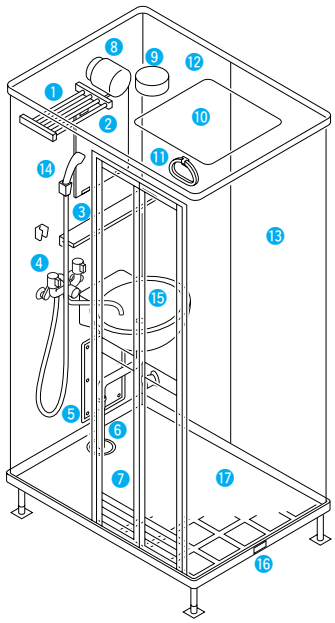
1. ロータンク
2. ドア
3. 照明器具
4. 換気扇
5. 天井
6. 天井点検口
7. 壁
8. タオル掛
9. 紙巻器
10. 便器
11. 防水パン

※現品は図と仕様が異なる場合がありますのでご了承ください。



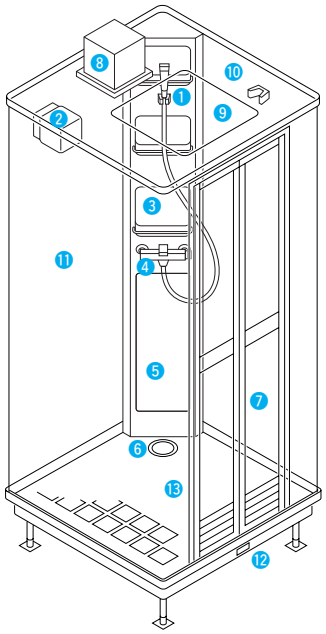
RCP-Ⅲ(Q)0811

1. シャワー
2. 照明器具
3. 棚
4. 化粧棚
5. 混合水栓
6. 点検口フタ
7. 排水トラップ
8. 折戸
9. 換気グリル
10. 点検口
11. 天井パネル
12. 壁パネル
13. 機種名表示
14. 防水パン



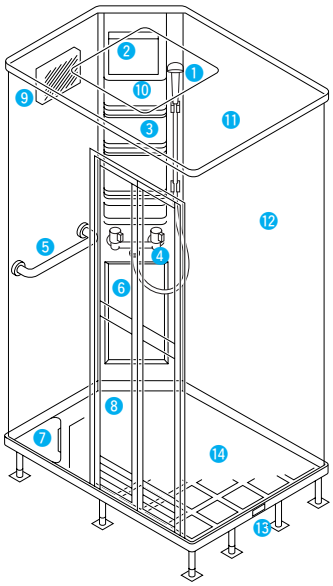
RCPL-Ⅲ(Q)0811

1. 棚
2. 鏡
3. 化粧棚
4. 混合水栓
5. 点検口フタ
6. 排水トラップ
7. 折戸
8. 照明器具
9. 換気グリル
10. 点検口
11. タオルリングル
12. 天井パネル
13. 壁パネル
14. シャワー
15. 洗面器
16. 機種名表示
17. 防水パン



ARCP-0909

1. シャワー
2. 照明器具
3. 収納・コーナーパネル
4. 混合水栓
5. 点検口フタ
6. 排水トラップ
7. 折戸
8. 換気扇
9. 点検口
10. 天井パネル
11. 壁パネル
12. 機種名表示
13. 防水パン



ARCP-0812

1. シャワー
2. 照明器具
3. 収納・コーナーパネル
4. 混合水栓
5. ニギリバー
6. 点検口フタ
7. 排水トラップ
8. 折戸
9. 換気扇
10. 点検口
11. 天井パネル
12. 壁パネル
13. 機種名表示
14. 防水パン

使用方法と使用上のご注意

1. 水栓器具

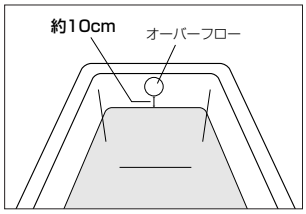
■水栓器具の取扱いについては、水栓器具に添付されている取扱説明書をお読みください。

■凍結が予想される場合は、水抜きをしてください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らすおそれがあります。水抜き方法は、「取扱説明書」をご参照ください。

2. 浴槽・風呂フタ

■浴槽内の水を抜く場合は、排水栓の金具取付部分を傷めないように、ゆっくりとまっすぐ上に引っ張ってください。

■風呂フタは、巻きフタがオプション設定されています。



■サニタリーコアタイプのオーバーフロー

サニタリーコアの浴槽の壁面には、オーバーフロー口がついています（バスセットタイプを除く）ので、オーバーフロー口の下約10cm程の水位でお湯をとめてください。オーバーフロー口に水位が達しますと、お湯が排水管に流れ出してむだになります。

※防水パンタイプのみ（バスセットタイプにはオーバーフロー口は付いていません。）

●サニタリーコアの場合のカーテンのご使用について

入浴、または体を洗ったりシャワーをご使用の時は、洗場に湯水がとびちるのを防止するため、必ずカーテンを引きカーテンのすそを浴槽内に入れてください。

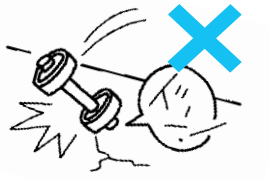
また、カーテンに火を近づけないでください。

お願い

浴槽・床・壁・天井についてのお願い

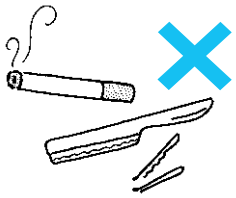
●タバコなどの火気を近づけないでください。焼けこげ・ヒビワレの原因になります。

●硬いもので擦ったりしないでください。傷がついて取れなくなります。



●釘は、打たないようにしてください。

●ヘアピン・カミソリの刃などを置くと、サビが付着して取れなくなることがあります。



●シャンプーや石ケンの泡などが付着した場合は、すぐに水で洗い、拭き取ってください。そのまま放置すると汚れが落ちにくくなったり、カビの原因になります。

●浴槽には循環温水器（24時間風呂）は、設置しないでください。浴槽を傷める危険性があります。

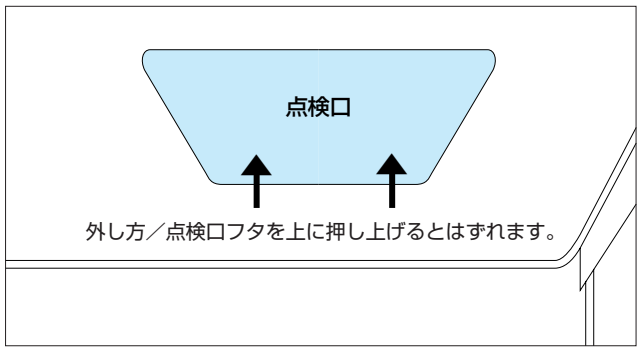
●浴室を乾燥させるために、十分換気を行なってください。湿気があると、カビ・汚れの原因となります。

3. 点検口

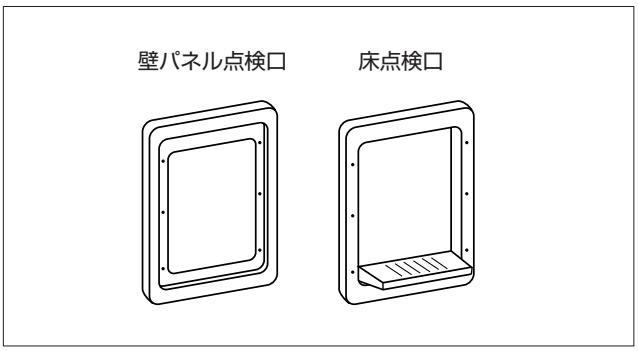
■洗い場･天井には点検口があります。水栓器具や換気扇の点検の時に内部から点検できるようになっています。

■水栓器具や換気扇の点検は、専門のサービス店がおこないますので、ご要望があれば最寄りの営業所までご連絡ください。

●天井点検口



●洗い場点検口



⚠ 注意

通常はお客様が天井点検口を開ける必要はありませんが、もし点検口を開けて作業される場合は手袋をご使用ください。点検口フタおよび開口部で手指に切り傷を負う可能性があります。

お願い

●タバコなどの火気を近づけないでください。焼けこげ･ヒビワレの原因になります。

●硬いもので擦ったりしないでください。傷がついて取れなくなります。

●壁･天井･床などには釘を打ち付けないでください。

●浴室を乾燥させるために、充分換気をおこなってください。湿気があると、カビ･汚れの原因となります。

4. 便器･ロータンク

■ロータンク蓋の上に重いものを置かないでください。

■寒冷地で、タンクの水が凍る恐れのある時、または旅行などで長時間トイレを使用しない場合は、止水栓、または水道の元栓を締め、ロータンクへの送水を止めた後、レバー操作で水を完全に抜いてください。（貯水するときはこの逆の手順です。）

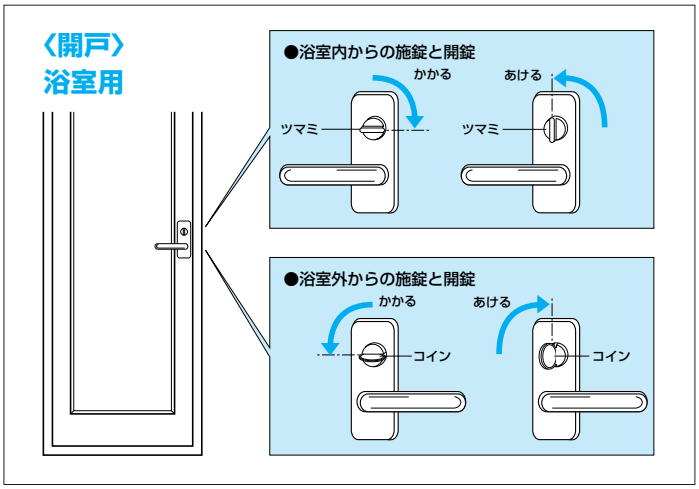
5. ドア

■ドアは、折戸・開戸の2種類があります。

■ドアロックの施錠と開錠の仕方

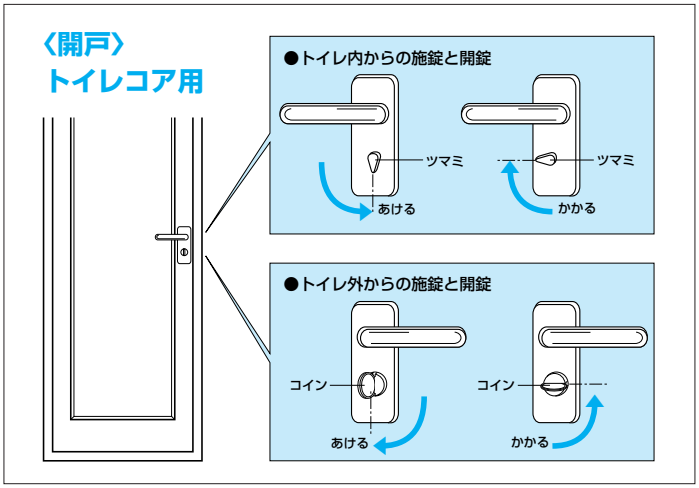
〈開戸〉浴室用

浴室内・浴室外の両方から施錠・開錠できます。



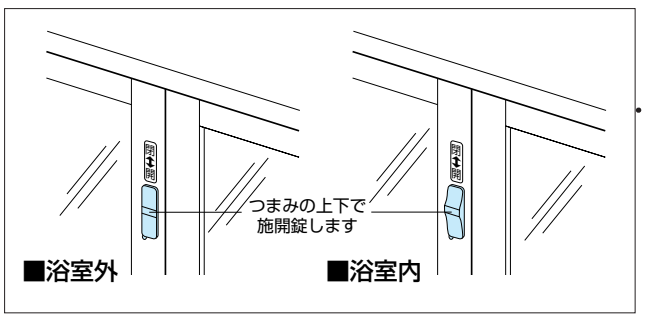
〈開戸〉トイレコア用

トイレ内･トイレ外の両方から施錠･開錠できます。

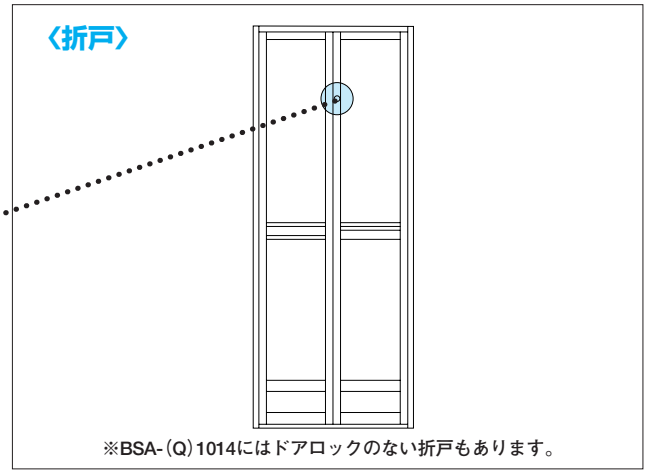


〈折戸〉

浴室内・浴室外の両方から施錠・開錠できます。



つまみを上げると施錠、下げると開錠できます。



※BSA-(Q)1014にはドアロックのない折戸もあります。

■緊急救出口の使い方〈折戸のみ〉

緊急救出口は、内部で人が倒れ、開かなくなったときに使用するものです。通常は、さわらないようにしてください。特にお子さまには、ご注意ください。

■外し方

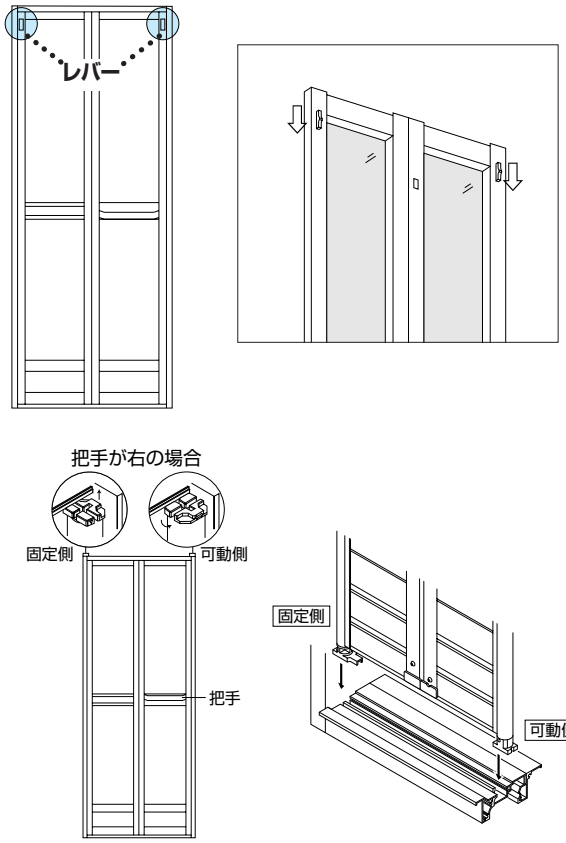
①ドアを閉じたままドア把手を持ち、ドア上部にある戸車レバーを下に下げてください。
②ドアを支えながら、ゆっくりと浴室側に斜めに傾けてください。
③ドアを両手で持ち上げ、脱衣側へ移してください。外した障子は、下部水密材保護のため、上下逆にして縦置きしてください。
④折戸に人が倒れかかっている場合は、注意して開けてください。
⑤再度、障子を吊り込む際は戸車の向きに注意してください。誤りますと開閉できなくなる恐れがあります。

■取付け方

①下部固定側戸車を、向きに注意してレールにセットしてください。
②上部も戸車を、向きに注意してレールにセットしてください。

注意
ドアを30°以上開いた状態では枠からはずしたりつけたりすることができません。

〈折戸〉



・上戸車は90°回転させると固定⇔可動となります。
・把手が左の場合は上図の逆になります。

6. タオル掛(オプション)・物干しバー(オプション)・ニギリバー(オプション)

■タオル掛は、タオルを掛けるのにご利用ください。ニギリバーではありませんのでぶら下がったり、強い力で引っ張らないでください。

■ニギリバーは、立ち座りの補助や浴室への出入りや浴槽への出入りに、ご利用ください。

■物干しバーの制限重量（洗濯物をバーに掛けて良い重量）は、1本あたり4Kgとなっています。制限重量以上の洗濯物等をかけると落下の恐れがあります。（物干しバーはオプション）

●荷重4kgの目安としての洗濯物(脱水状態)の量

タオル4枚・ショーツ4枚・パンスト2枚・Yシャツ2枚・ズボン(男)4枚・くつ下8枚・半袖シャツ4枚・パジャマ2枚

＝

4kg

7.換気扇（オプション）

■浴室内を蒸気のこもったまま放置しておきますと、悪臭やカビなどの発生原因となり、浴室内のいたみが早くなることがあります。入浴後は換気扇を必ず30分以上回してください。なお、日中はできるだけ窓を開けて換気し、浴室内を乾燥させるよう心がけてください。

■換気扇に直接水をかけないでください。

お手入れ

■長期間快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

安全にお手入れいただくために、お客様に必ず守っていただきたいことが記載してあります。よくお読みのうえ、正しくお手入れしてください。

■照明器具お取り替えの時のご注意

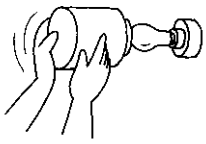
警告

照明器具お取り替えや換気扇のカバーを取り外す場合は、必ず電源スイッチを切ってからおこなってください。

照明器具には、濡れた手で触れないでください。濡れた手は電気を通しやすく、感電のおそれがあります。

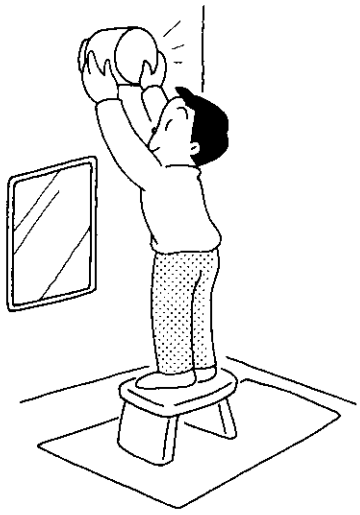
注意

●照明器具お取り替え後、照明カバー取付けの際、必ず防水パッキンをきっちりはめてください。照明カバー内に水が入ると、漏電や球切れのおそれがあります。



●照明器具のソケット部に指定ワット数が明記してあります。お取り替えの場合は、必ず60Wの電球をご使用ください。ワット数の大きい（発熱量が多い）電球を使用すると、照明カバーが溶けるおそれがあります。

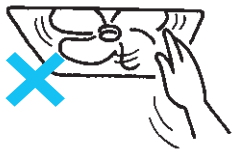
●交換の際は、安定した踏み台をお使いください。バランスを崩してケガをすることがあります。
（段ボール紙などで床を保護して、踏み台をご使用ください。）



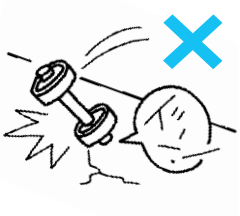
■浴室のお掃除の時のご注意

⚠ 注意

●換気扇作動中に換気扇カバーを取り、中に手を入れないでください。ケガをするおそれがあります。

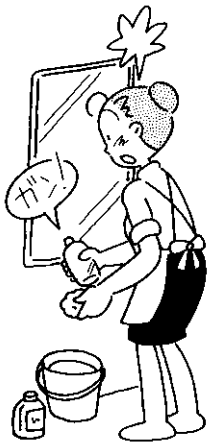


●浴室内を硬いもので擦ったり、重くて硬いものを落とさないでください。傷つき、ヒビワレの原因となります。



●トラップの掃除を怠ると排水が詰まり、洗い場に水が溜まるおそれがあります。ご注意ください。また、浴室内を清潔に保つためにも定期的に掃除してください。

●鏡は、硬い物を当てると割れることがあります。非常に危険ですので充分にご注意ください。



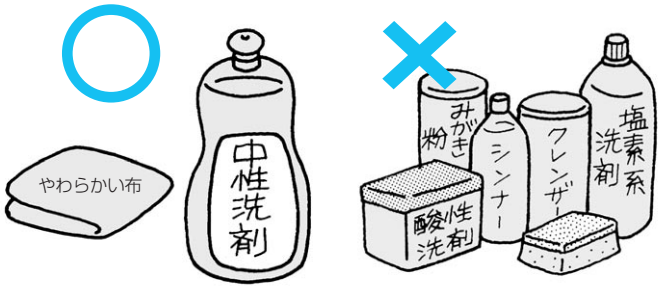
1. 水栓器具

■柔らかい布で磨いてください。

■樹脂の部分にミシン油やカーワックスなどがつくと光沢がなくなりますので、つかないようにしてください。

■クレンザーやナイロンタワシなどはメッキの表面を傷めますのでご使用にならないでください。

■詳しくは、水栓器具に添付されている「取扱説明書」をお読みください。



2. 浴室

■乾いた柔らかい布、またはスポンジに中性洗剤・バスクリーナーなどを含ませて拭いてください。

■目地・部材の隙間の掃除は、ブラシ・刷毛（毛先のやわらかいもの）や市販の隙間お手入れ用品を使用し、行って下さい。

■右記の薬品や用具などは、壁・天井・床・収納などを変色させたりキズをつけ、また、金属部分のサビ・腐食の原因となりますのでお使いにならないでください。

■洗剤・入浴剤・化粧落とし剤・毛染剤などが原液のまま付着すると、変色のおそれがありますので、定期的に掃除して下さい。

■洗浄剤をお使いになるときのご注意

●洗浄剤には、多くの種類があります。使い方を間違えますと、人体に悪影響を及ぼす場合がありますので、洗浄剤のご使用方法・注意書を良くお読みの上ご使用ください。

●洗浄剤はご使用方法に記載された適量以上に使用すると、泡が残りやすくなりますので、使用方法を良くお読みの上ご使用ください。

●お手入れの際は、換気扇を回したり窓を開けるなど、十分な換気を行なってください。

●洗浄剤をお使いになった後は、水できれいに洗い流してください。洗浄剤が付着したまま長時間放置しますと、変色する場合があります。

●漂白剤入り、あるいは研磨剤入りの洗浄剤は、壁･天井･床･カウンター･収納などを変色させたり、キズをつける場合がありますので、ご使用にならないでください。

●イオウ及び酢酸配合の入浴剤、塩素系の風呂水清浄剤は、金属、ゴムを傷める場合があります。

また、一度に大量の入浴剤を使用すると、浴槽表面の光沢を失ってしまうものもありますので、商品の注意書きをよくお読みの上、使用方法をお守りください。

■カビ取り剤をお使いになるときのご注意（目地部・継ぎ目部）

●床・壁・天井の継ぎ目部分の目地材に水分やゴミ・アカなどがつくと、カビが発生します。

少なくとも週一回は、柔らかい布やスポンジに中性洗剤をつけて、水分・湯垢・ゴミなどを拭き取ってください。

●汚れが取れないときは、換気を十分しながらテープなどで壁面を保護した上で、カビ取り剤を使用してください。

なお、カビ取り剤をお使いの場合は、カビ取り剤の「説明書」を良くお読みのうえ、正しくご使用ください。

●使用後は十分水洗いし、カビ取り剤を洗い流してください。

●漂白剤は使用しないでください。樹脂や金属部分が破損するおそれがあります。

お願い

●床・壁・天井・収納などをタワシ等など硬いもので擦ったりしないでください、傷がついて取れなくなります。

●床・壁・天井の継ぎ目部分には目地材が打たれています。防水のため非常に大切なものですので、絶対にはがしたり傷つけたりしないでください。またお掃除の時もタワシ・歯ブラシなど硬いもので擦らないでください。

●目地が傷んできましたら、当社（積水ホームテクノ（株））営業所または建築会社にご連絡いただき、専門のサービス店に補修を依頼してください。

3. 排水トラップ

■目皿とストレーナーは定期的にお手入れをしてください。長期間放置するとカビや異臭の原因になります。

■トラップ内に毛髪やゴミが詰まりますと排水能力が低下し、不衛生になるばかりではなく、床面に水が溢れたり漏水の原因にもなります。万一、詰まった場合は、すぐに取り除いてください。

■排水口に、溶剤や薬品類を流さないでください。水漏れのおそれがあります。

■トラップはいつも正しくセットしてください。正しくセットしない場合、異臭がするおそれがあります。

■目皿やストレーナーを取りはずした状態でのご使用はお避けください。毛髪やゴミなどの詰まりの原因となります。

【お掃除の手順】

①化粧蓋を取りはずしてください。（化粧蓋が無いタイプもあります。）

②排水口の目皿を少し回してはずします。

③ストレーナーをはずして毛髪、ゴミを取り除いてください。

④封水筒を時計と反対の方向に回して抜きます。

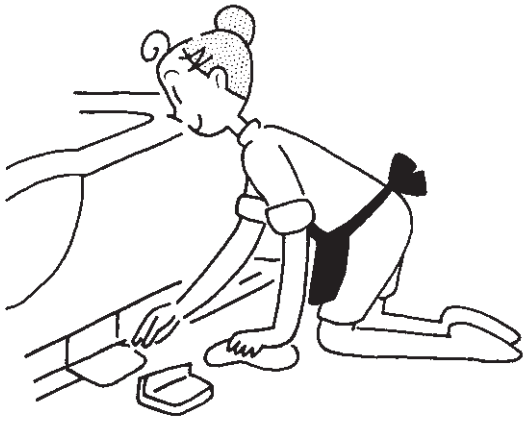
⑤トラップ本体の中の毛髪やゴミを取り除きます。

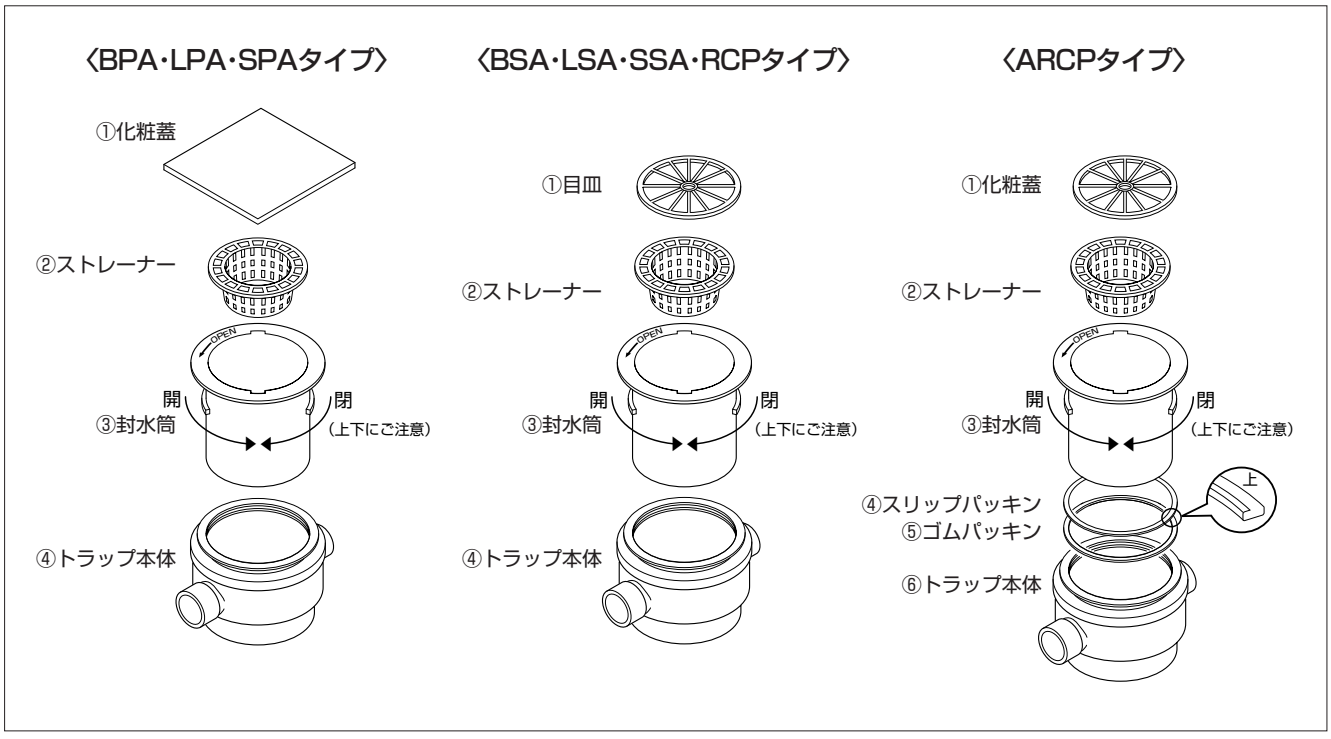
【お掃除が終わったら】

①お掃除の手順①～⑤の逆の順序で正しくセットしてください。（ゴムパッキンも忘れずに）。

②排水部から異臭の侵入を防ぎ、封水を保つため、必ずバケツ1杯の水を流してください。

目皿とストレーナーは週に一回程度お手入れをしてください。





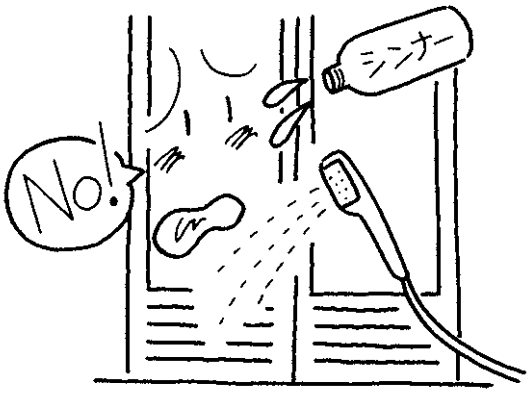
4. ドア

■ドア枠･面材(スチロール樹脂)の汚れは、水洗いや中性洗剤で拭き取ってください。

お願い

●ドア枠･面材の清掃には、シンナー･ベンジン･アセトンなどの有機溶剤を使わないでください。ドア枠･面材をシンナーなどで拭きますと表面が溶けることがあります。絶対にシンナーなどを付着させないように、ご注意ください。

●ドア本体･ドアガラリ･ドアロックは水をきらいます。水をかけたり、水滴をそのまま放置しておきますと、悪臭やカビが発生し、ロックの開閉がきかなくなる原因となりますので、水を拭きとって換気を充分おこなってください。



5. タオル掛・ニギリバー

■タオル掛および樹脂被覆されたニギリバーは、乾いた布またはスポンジに中性洗剤・バスクリーナーなどを含ませて、拭いてください。

お願い

●樹脂被覆されたタオル掛･ニギリバーのお手入れに、シンナー･ベンジン･アセトンなどの有機溶剤は使わないでください。表面が溶けるおそれがあります。

6. 鏡

■湯アカ・石けんの油脂分、手アカなどが付着しますとお湯の蒸気などでくもります。このような場合、アルコールで油脂分を拭き取ってください。

■汚れが取れにくい場合は、中性洗剤やガラスクリーナーなどで磨いてください。さらに汚れが取れにくい場合は、市販の鏡用研磨剤入りクリーナーで磨いてください。

7. 便器

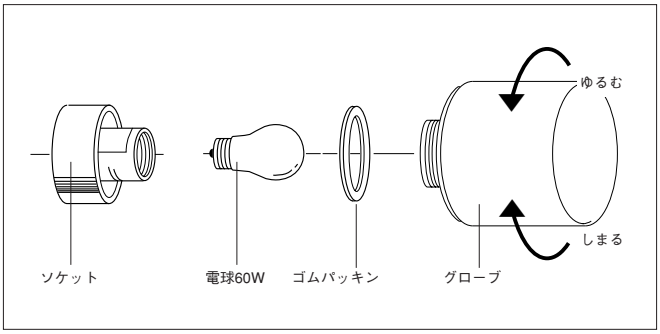
■汚物が付着して流し水だけで汚れが落ちない場合は、モップなどに中性洗剤をつけ、こまめにお手入れしてください。

8.照明器具

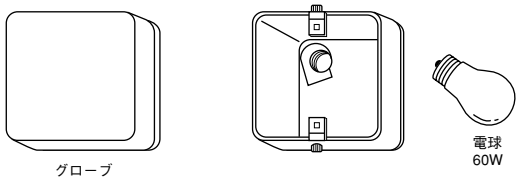
【白熱球】

電源スイッチをONにしても照明がつかないときは、電球が切れている可能性があります。次の手順で電球を交換してください。

①分電盤の浴室回路電源スイッチを切ってください。
②照明グローブを左に回し、はずしてください。
③電球を取り替えてください。
④角型グローブは次の手順でグローブをはずしてください。
　上下の固定ビスをゆるめてグローブをはずす。
⑤ゴムパッキンを忘れずに入れ、照明カバーを取り付けてください。
⑥電源スイッチを入れ、点灯の確認をしてください。



角型グローブ



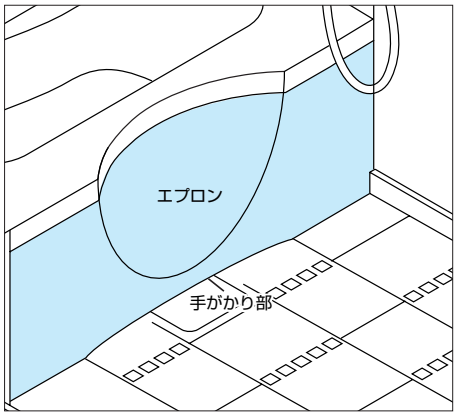
お願い

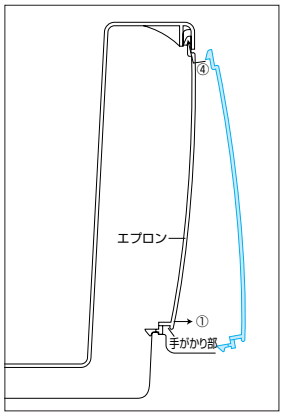
- ●ゴムパッキンは、はみ出したりねじれたりしないように、きっちり装着してください。
- ●照明カバーなどの交換の際には、ソケット部の型式を当社までご連絡ください。
- ●取り替えなどの場合は、電源スイッチを必ず切り、作業してください。濡れた手での作業は危険です。
- ●電球は、60Wのものをご使用ください。

9.床（防水パン）BPシリーズ

■床には、浴槽や洗い場からオーバーフローした水が流れ込んでくるため、放置しておくと汚れがたまり異臭がしてくることがあります。

①エプロン下部の手がかり部を手前に引き、エプロンを外してください。
②柄の長いブラシに中性洗剤をつけ、汚れを取り除いてください。
③シャワーで洗剤分および汚れを洗い流してください。
④エプロン上部を浴槽に差し込み、下部を押し込んで、エプロンを元に戻してください。





付加機能部品

■機能商品は、それぞれ「取扱説明書」が添付されておりますので、「取扱説明書」や本体の注意表示にそって正しくお使いください。誤った使い方をすると思わぬ事故や故障の原因となります。

1. 換気・乾燥・暖房機

⚠ 警告

運転中に機器から異常音や臭気が感じられたら、使用を中止し、分電盤のブレーカーを切ってください。異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になることがあります。

※原因が分からない場合は、建築会社または当社（積水ホームテクノ（株））営業所までご連絡ください。

本体やリモコンに直接水やお湯・カビ取り剤などをかけないでください。ショートや感電することがあります。

食用油・動物系油・機械油・ベンジンやシンナー・ガソリンなどが洗濯後でも付着している衣類は、絶対に乾燥しないでください。油の酸化熱による自然発火や、引火することがあります。

修理技術者以外の方の分解修理・改造はしないでください。火災やケガの原因になるおそれがあります。

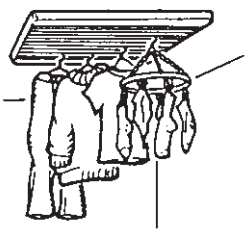
詳しくは、本体に添付されている「取扱説明書」をお読みください。

⚠ 注意

お掃除は分電盤のブレーカーを切ってから行なってください。（ぬれた手で入／切しないでください。）
感電のおそれがあります。

フィルターを外したまま運転をしないでください。火災や故障の原因になります。

フロントパネルの吸込口、吹出口を洗濯物などでふさがないでください。火災や故障の原因になります。



フロントパネルは、外さないでください。感電やケガをするおそれがあります。

異常かなと思った時は

商品に異常が生じた時は、下表を参照してください。
それでも直らない場合は、お求めの販売店または最寄りの当社各営業所にご相談ください。
なお、取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合はご相談ください。

現　象	原　因	処 理 方 法
水栓からの吐水量が少ない	ストレーナーにゴミがたまっていませんか?	ストレーナーを掃除してください。
	給湯器の能力が不足していませんか?	浴室以外の同時給湯を避けてください。
水栓の配管から水が漏れている。	パッキン(消耗品)が消耗していませんか?	パッキンを交換してください。 (水栓器具の取扱説明書をご覧ください。)
湯温が上がらない、変動する	給湯器の設定温度が低くないですか?	給湯器の設定温度を上げてください。
	ストレーナーにゴミがたまっていませんか?	ストレーナーを掃除してください。
水栓の水(お湯)を止めると大きな音がする	水栓のハンドルを急開閉していませんか?	水栓のハンドルはゆっくり回してください。
照明が点灯しない	電球・蛍光灯がはずれていませんか?	電球を確実にはめてください。
	電球・蛍光灯の寿命が切れていませんか?	スイッチを切って電球を交換します。
お湯の排水が遅い	排水トラップ内やストレーナーにゴミがたまっていませんか?	排水トラップ内やストレーナーを掃除してください。
洗髪時の泡が残る	泡の量が多く、水だけが流れているためです。	シャワーをかけて流してください。
目地にかびが生える	換気と清掃は充分ですか?	入浴後はお湯が入っている浴槽には風呂フタをしめてから換気扇を回し、窓を解放するなどしてください。定期的に清掃してください。
浴室から異臭がする	トラップの封水が不足していませんか?	バケツ1杯分程度の水をトラップに流してください。
	封水筒がはずれていませんか?	封水筒を正しく取り付けてください。
	封水トラップ内部が汚れていませんか?	排水トラップ内部を清掃してください。
天井や壁に水滴が多くついてしまう	換気は充分ですか? 風呂蓋をしめていますか?	入浴後はお湯が入っている浴槽には風呂フタをしめてから換気扇を回し、窓を解放するなどしてください。定期的に清掃してください。
換気暖房乾燥機	調子が悪い	直ちに使用を中止し、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

アフターサービス

1.品質保証について

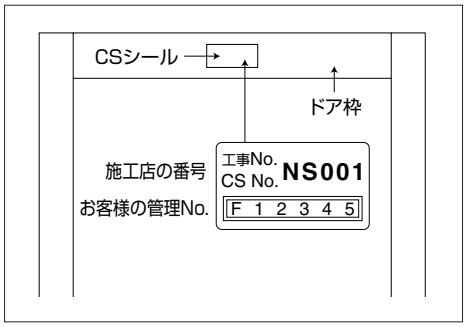
（1）保証期間
ご契約先への引渡し日より下記期間保証いたします。
①防水性についての瑕疵保証期間……5年間
②防水性能以外についての瑕疵保証期間……2年間

（2）保証内容
①浴室ユニット防水性能および防水性能以外の性能について施主より申し出があり、弊社に瑕疵があると認められる場合、修理を無償で行います。
注1.防水性能とは…浴室ユニット外へ漏水しないことをいいます。
（但し、ドアガラリからのはね水および他に影響のない程度の水滴などは、漏水の対象から除外いたします。）
注2.瑕疵とは…浴室ユニットが本来備えているべき性能に欠けているため、その本来の性能を発揮しないものをいいます。

（3）保証期間でも次の場合は有償となります。
①使用者の正常な使用によらないで生じた場合
②給湯器ユニットにより生じた場合
③給湯器ユニットの空焚きによる場合
④建築躯体および関連設備工事に起因する場合
⑤建物完成後、施主引渡までの間、管理などの不備による場合
⑥火災･地震その他天災により生じた場合
⑦据付後の改造移動、その他の変更により生じた場合
⑧水栓の止水パッキン、照明灯の断線などの消耗品、ストレーナーのゴミ詰まりなどによる故障および損傷。

2.修理を依頼されるとき

（1）修理を依頼されるときは、下記の内容を連絡してください。
①お名前、ご住所、電話番号
②CSシールの活用→下記を参照してお客様の管理No.（CS No.）を確認ください。
③取付年月日
④故障部品と内容･異常の状況
⑤訪問ご希望日



（2）依頼先･お問い合わせ先
お求めの販売店または、本書最後に記載の最寄りの当社営業所（営業時間9：00～17：30土日祝休業）に連絡してください。

3.廃棄について

浴槽などを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

'03.11